

第20期広報

きらめき No.3



笑顔でつながる友達の輪



自治会長挨拶



自治会長 大井康史

すっかり秋めいてきましたが皆さんはいかがお過ごしですか。早いもので市民大学に入学してから一年半が過ぎました。面白い授業や興味深い授業、そして自主企画旅行、学園祭、スポーツ大会、修学旅行など、昨年度夏の甲子園優勝監督の言葉「青春ってすごく密なので」ではありませんが、すごく密な時間を過ごしてきました。これからも学園祭などの行事でまだまだ密な青春が続いていきます。

事務局の皆さんの尽力と学生の皆さんの協力により、これまでの行事が無事開催できたこと、これからの行事へ強力なサポートが頂けるであろうことを感謝しております。私が学部長を兼任する歴史郷土学部の今年度自主企画旅行は渡良瀬溪谷から日光東照宮へのルートで、緑豊かな自然、歴史と文化溢れる社寺、修復された東照宮の文化財に触れ、歴史郷土学部学生のご縁で一般参拝では入れない東照宮内の「将軍着座の間」で特別な空間に身を置いた貴重な一日でした。ご縁に感謝です。事務局と学生の皆さん、楽しい充実した密な時間を最後まで一緒に過ごしましょう。

事務局紹介



事務局長 小関一史

事務局長の小関です。着任して今年で3年目になります。趣味のひとつに釣りがあり、学生時代はバス釣りのプロトーナメントに参戦していました。3分間スピーチではみなさんの趣味のお話を聞くのを楽しみにしています。みなさんが、楽しく学び、仲間を作って充実した学生生活を送れるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

大野葉月

早いものできらめき市民大学に配属になり、あっという間に1年経ちました。学生の皆さんは人生の先輩方が多いですが、学びへの意欲や情熱の高さに敬服するばかりです。きらめき市民大学は、学びの宝庫であり、皆さんで協力し合って成長する場です。今後も皆さんと、より素晴らしい大学を築いていくことを楽しみにしています。

栗原 進

事務局の栗原です。事務局として20年前に開校準備に携わり、2期生とともに卒業いたしました。再任用後3年目にし、再び従事することとなり、当時と同様に活気あふれる学生の皆様を目の当たりにして、日々元気をいただいております。皆様が有意義な学生活動が送れるように努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

嶋田陽子

事務局の嶋田です。きらめき市民大学でのお仕事は、早いもので3年目になりました。大学での皆さんの元気な姿に、私も色々なことにチャレンジしなければと思っています。趣味と体力づくりを兼ねて始めた登山ですが、どこかおすすめの山があったら、教えていただけると嬉しいです。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

A班 「命と安全な生活を守るためには」

課題研究テーマを決めるにあたり、卒業生が取り組まれた内容を紐解くと、多種多様にわたり調べてあり、新たなテーマが思いつきません。そこで各自取り組みたいことを話し合いました。これから元気で健康に過ごすためには、日常生活で注意すべきことは何か、高齢化時代の不安を解消するためにはどう過ごすべきか、これこそが今調べておくことではないかと思い、「命と安全な生活を守るためには」とテーマ決定しました。



生活の中で起こりうる事故や病気の応急処置、その後の老後はどうするのか？介護保険制度が発足して23年たっているが、現在の状況を知りたい。そこで、まず春休み中に家庭で起こる病気等の応急処置法を調べました。5月には救急救命士の遠藤氏の講演を聞き、6月には、比企広域消防東松山北分署の方々にAEDを使用した心肺蘇生法の講習体験を受けました。そして、高齢介

護課による出前講座を実施し、要介護認定等の手続きの方法を学びました。6月末には、市内地域包括支援センターを訪問。コロナ禍で施設は全て見学できませんでしたが、介護の現場を少しだけ垣間みることができました。

秋田谷 妙子

B班 「東松山やきとりの歴史と文化」



くらしと健康学部B班が研修室1に集合したものの、皆不安な様子でした。一年生の時に学んだ「健康」「長寿」「食生活」あたりから決まるのだろう。誰もがあの時考えていたと思う。フレイル(虚弱)サルコペニア(加齢による筋肉量の減少)等色々な項目が上がる中、「東松山のやきとりについて調べるのはどうかなあ」その一声にそれやりたいと賛同したのが、23人中、男性4人と女性6人の計10人でした。迷う事無く集まった10人、さぞかし「やきとり博士」かと思いきやそうではなかった。このメンバーで大丈夫だろうか、不安がよぎる。そこで、ネットサーフィンすれば、誰でも博士になれるが、ネット情報は、真実もあれば虚実もある。やきとりの現実を

探しに、現場に踏み出し、市内のやきとり店へ行ってみた。工夫点や苦労話など聞ければと考えたが、間違いでした。やきとりを焼くのに忙しい店主は居ても、広報担当は居ませんでした。やきとりという東松山に住んでいれば、誰でも知っている世界。それを課題研究として、どう纏めていくのか、乞う…ご期待あれ。



栗原 清

国際・文化学部

A班 「日本の食文化と多様性」



国際・文化学部は、現在 14 名です。A 班 8 名、B 班 6 名、少数精鋭で課題研究に取り組んでいます。A 班のテーマは、「日本の食文化と多様性」です。

進捗状況は、2 月に課題研究の内容と役割分担を協議し、3 月に研究テーマと方向性を決定しました。その後、テーマ毎に発酵食品、郷土食、自給率、代替食品の 4 つのグループを作り調査や研究を重ねてきました。6 月には平野市民活動センターのッキングルームで埼玉県の郷土料理「ねぎぬた」「すったて」「かてめし」を調理し、皆で試食しました。和気あいあいとした雰囲気での調理と食事は、とても楽しく最高の味で感動的でした。食事は大勢で楽しくいただくのが一番です。生徒間の距離もなくなり親密度が深まり、課題研究のスピードも増しました。そして、課題研究をグループ単位で進めていますので、情報交換と親睦を深めるため課題研究日には、交渉担当者が美味しい店を厳選しランチを市内のお店で取りました。そこでの会話は、皆さんの豊富な知識や経験、人間性が表れていて、お互いを理解するのに役立ち、至福の時間となりました。今、課題研究の原稿がまとまりましたので、これから編集・校正担当者を中心にして全員で校正作業に取り組んでいきます。



眞下 章

研究課題奮闘中

B班 「国際交流の現状と課題」



最近、市内でも外国人の姿をよく見かけることから、スリーデーマーチなど国際交流を標榜する東松山市の在留外国人の現状と、国際交流はどうなっているのだろうと思ったのがメンバー（6 名）でこのテーマを選んだ理由です。

まず手始めに実態を探ろうと、次の機関、施設への見学とヒアリング等を開始しました。

1. 東松山市国際交流協会へのヒアリング、会員加入、各イベントへの参加

例：国際交流研修会（ウクライナのあれこれ）、食文化交流会、こども英会話、日本語教室ボランティアなど

2. 大東文化大学、東京電機大学へのヒアリングと留学生へのアンケート

3. ふじみ野国際交流センター（NPO）への施設見学とヒアリング



ふじみ野国際交流センター



ウクライナ民芸品



ALT 授業テキスト 松二小

4. 市内 ALT (Assistant Language Teacher: 外国語指導助手) 授業の見学その他、在留外国人の統計データも調べ、現況報告と課題など何か提言できることがあればと思っています。

澤本三知男

A 班 「東松山市内の寺社彫刻」

私たちのチームは、東松山市内にある魅力あふれる寺社彫刻を紹介し、歴史的価値のある彫刻の発掘及び保存、ならびに最終的には散策マップを作成し、東松山市の観光業に活用してもらうことを目標に研究を始めました。



神戸 妙昌寺仏像

市内には、41の神社・37の寺があります。私たち寺社彫刻チーム総勢15名で、4つの班に分かれて春休みから調査を開始しました。

訪問してみると、仏像や拝殿・本殿の彫刻の素晴らしさに感嘆しまくりです。

また、きらめき大学の課題研究で調査していると伝えると、お寺の秘宝も拝見させていただくこともあります。

東松山市は、箭弓稻荷神社の創建が712年、岩殿観音正法寺が718年と古くから信仰心のある人たちが住んでいた町なのです。地元の歴史郷土を探り、素晴らしい彫刻を目にするたび、東松山の素晴らしさに感動しております。

この課題をまとめ、市民に発表できる日を楽しみにしています。みなさん、待っていてくださいね。

齋藤薫子



下青鳥 氷川神社素木彫

B 班 「東松山市及び周辺地域の古墳時代について」

昨年度1月に古墳を研究しようと12名が集まりました。(その後1名が退学)春休みには、古墳大国群馬県の保渡田古墳群を見学しました。ボランティア2人の方にご案内いただき、1500年前の古墳の姿を目にすることができ、感銘を受けました。巨大な前方後円墳に何千という埴輪が建てられていたことが理解できました。

続いて4月には日曜日を使って埼玉古墳群を見学しました。この古墳群は、5世紀後半から7世紀中頃にかけて150年にわたり連続して造られた古墳群です。こちらもボランティアさんにご案内いただき、8基の前方後円墳の被葬者が密接な関係を持っていたことがわかりました。東松山のすごいところは、古墳時代の前期・中期・後期・終末期を通してずっと古墳が築造され続けていたところです。これから私たちの研究は、古墳時代の東松山に向かって進んでいきます。

阿曾田洋子



八幡塚古墳埴輪群像



埼玉古墳群二子山古墳



保渡田八幡塚古墳



埼玉古墳群將軍山展示館

日本のミケランジェロは素晴らしかった

3学部
合同企画

思い出の

ゴールデンウィーク翌週の5/11から1泊2日の修学旅行でした。当初予定より少ない人数となったため中型バスでの出発となりましたが、大学を出発し東松山駅西口で残りの方をピックアップし、一路新潟方面へ関越道を走ります。湯沢ICを降りて赤城山西福寺へ。初めてその名を聞く石川雲蝶の彫刻絵画の作品が、天井、欄間、壁面等に多く残され、細やかな細工や遠近法をうまく使ったり、遊び心をもって仔細な動物を描いたりとその凄さに圧倒されました。次の永林寺も含めガイドさんの解説は面白く作品の理解を深めます。

「何でも鑑定団」の中島誠之助氏が放送で訪れ、「日本のミケランジェロ」と言ったとか。領けました。3番目の龍谷寺は、ガイドさんはずきませんでした。歴史郷土学部の堀田さんの解説で十分でした。造詣の深い方ですね。兎に角、印象深い石川雲蝶とその作品群でした。行かれなかった方は、新潟方面に旅行の際、是非立ち寄られることをお勧めします。旅行メンバーの中には、その後の夫婦での新潟旅行で、奥さまをお連れして石川雲蝶を見せたとか。西福寺はその日たまたま屋内撮影許可の日だったようで、その撮影データを頂きました。



石川 雲蝶 (いしかわ うんちょう、1814年(文化11年) - 1883年(明治16年)5月13日)は幕末・明治初期、主に越後国(新潟県)で活動した彫工(彫物師)。寺院などに、色鮮やかで躍動感溢れる木製彫刻を多く残し、他に石彫刻や寺院の設計、絵画、を含めた作品は1000点以上が現存している。

写真は西福寺掲載許可を得ています

修学旅行



その日の宿は、越後湯沢のホテル双葉。夕食はコの字型のテーブルについて、大井会長の乾杯からスタート、アルコールが入るにつれて雰囲気は上々。食事が終わった後は、スイートルームと思しき部屋に皆さん集まり暫し歓談。話に花が咲きましたが、皆さん、無理の利かない年齢故に、早々に部屋に引き上げられました。

翌12日は、宿の玄関で若女将と一緒に記念撮影、国道117号線を一路西へ。長野県へ入って、道の駅「信越さかえ」で昼食の後、栗で有名な小布施へ。ここでは福島正則公が移封され没した曹洞宗梅洞山岩松院と北斎館で葛飾北斎を見学しましたが、皆さん、じっくり見学されてました。

帰路は高速も混まず、ほぼ予定通りで怪我人も無く無事帰着。東松山駅と大学で散会しました。皆さまお疲れ様でした。自治会企画担当の皆様、東武観光の皆様、本当にありがとうございました。楽しい旅でした。更に、旅行クーポンの関係で、5000円戻ってきたのは嬉しかったです。3学部、もっと参加すればより楽しかったかな。

国際・文化学部 澤本三知男



福島正則公霊廟



龍谷寺



西福寺・雲蝶の間



待ってました。宴会で～す!



皆様お疲れ様でした。カンパ～イ!



二次会は、何方かの高説を静かに拝聴?

750年の歴史が育んだパワースポットでパワーをもらう



天気は快晴で、絶好の旅行日和です。バスは途中サービスエリアで休憩を取りながら、身延山久遠寺に到着、寺院の壮大さに目を見張るばかりでした。750年の長きにわたり歴史を紡ぐ身延山久遠寺、日蓮聖人が入山し、法華經に命を捧げた霊鏡、総本山として日々参拝する人が絶えることがないそうです。

次に昼食を兼ねて行った所は和紙の里で、色々な和紙の作品は、どれも素晴らしく、改めて紙の魅力を再認識致しました。

昼食は日本そばと、湯葉、天ぷらなどで美味しかった。そしてメインの桃狩りですが、容赦なく降り注ぐ太陽と格闘しながら、木に成っている桃を初めて自分の手でもぎ、生温かい桃を食べて、甘さが余り感じられなかったけど良い思い出になりました。

最後にハーブ庭園で暑さの中、紅茶とブルーベリージュースは美味しかったです。ハーブは、バジルやミントやローリエやオレガノなど、有名なものはわかるけど、まだまだたくさん種類

はあるそうで、全部で200種類くらいだそうです。私はハーブが少し苦手なので買わなかったのですが、皆様はお土産にハーブのクリームや化粧水や乳液を買っていましたから、今度会うときは見違えるほど綺麗に成っていることでしょう。楽しい日帰り旅行でした。

岩崎恵子



身延山・久遠寺・本堂前



山梨・勝沼桃狩り「美晴園」



山梨・勝沼ハーブ庭園

港のYOKO 横浜で lunch & cruises



国際文化学部では、「横浜の文化を肌で感じてみよう！」という事になりました。朝、8時半に14名で大型バスにゆったりと席を確保し、出発してから1時間半程度で一か所目の目的地、三溪園に到着しました。それはそれは、広い庭園で京都や鎌倉などから十七棟もの移築された建造物と四季折々の自然とが見事に調和していて、また違う季節に訪れたいと思うほどに見応えのある庭園でした。しかも私庭であったという事が驚きです。ボランティアで説明して下さい方には気の毒な程の暑い暑い日でした。



この暑さにはビールでしょう！！という事で、次に向かったのが横浜中華街でのうれしいランチタイムです。アルコールを飲める組と、飲まない組と二つのテーブルに分かれてしまいましたが、美味しい料理でお腹を満たし、楽しい幸せな時間でした。

その後、念願の豪華客船ではありませんでしたが、隣の遊覧船に乗り込み、世界一周への夢を語り合いながら、横浜港のクルージングを満喫しました。

また話題の赤レンガで横浜のセンスを感じながら、お土産を買ったりして、東松山からさほど遠くないところで、たっぷり旅行気分を味わうことができました。

18時30分、予定どおりは無事学校に到着し、企画委員の皆様様の綿密な計画のお蔭と感謝した一日でした。

小川由美子



ダイヤモンド・プリンセス号



国際・文化学部・華の4人組



横浜・三溪園



新緑の日光でTVロケに遭遇 どうする！どうする！



新緑の渡良瀬川と
わたらせ渓谷鉄道



私達の学部2度目の自主企画は、大河ドラマの徳川家康を奉る日光・東照宮へと決まり、6月29日予定通りバスは出発しました。

最初の目的は、わたらせ渓谷鉄道の「大間々駅」です。トロッコ列車は平日は運行しないため普通電車の車窓から渓谷を眺めます。

木々は緑豊かで、爽やかに美しく、渡良瀬川の清流の流れも良く見え、今度は紅葉見物に秋に來たいと思いました。この渓谷に立ち寄るプランを考えてくれた委員さんのおかげです。

下車した「神戸駅」に待っていたバスに乗りいよいよ日光です。着いてすぐ昼食です。湯葉づくしの湯葉御前は、この食事だけでも「来たかいがあった」と思う程風味豊かで美味しかったです。輪王寺を拝観し、次は東照宮です。

陽明門に向かい参道を進む途中で、テレビのロケに会いました。皆でチラチラ見ていたら後日、その様子が、テレビに映っていたのです。思いがけない記念になりました。

陽明門からは、徳川家の方とお友達のクラスメイトのおかげで巫女さんに案内と詳しい説明をしていただきました。

知っているつもりだった、彫刻も改め

て説明を聞くと、より一層理解が深まりました。一般入室禁止の「将軍着座の間」も入室でき、着座の間にさわれたりして、それも知識として記憶に残ります。

その後、長い石段を登り二荒山神社にお参りをし、たくさんのお土産を手にバスで帰路につきました。

知識欲、食欲を満足し、楽しい1日を過ごすことができました。

柴田春海



日光・東照宮仁王門



日光山輪王寺



風神・雷神

クラブ活動紹介

登山クラブ【遊歩会】

遊歩会はきらめき市民大学発足当時より約20年間活動している歴史あるクラブです。低山を無理なく安全に月1回の例会と山行を実施しています。毎回約30名近くの参加者が有り、皆さん素晴らしい景色と可愛い花々に出会えるのを楽しみに頑張っています。

令和5年度山行

- 4月 山梨県・高川山
- 5月 赤城山・黒檜山
- 6月 群馬県・ニヶ秃山（玉原高原）
- 7月 長野県清里・飯盛山
- 8月 日光白根山
- 9月 榛名山烏帽子岳

国際・文化学部 布施 忍



ニッコウキスゲの大群落



20期メンバー



清里・飯盛山

コーラスクラブ【コーラス1920】



東松山市 きらめき市民大学
令和5年度 入学式

プロのオペラ歌手、利根川佳子先生ご指導のもと、19・20期生がワンチームで“楽しく元気に”をモットーに活動しています。ハーモニーは一人では作れません。仲間の声を聴いて心をつにつにすること、これが合唱の醍醐味です。21期生の入学式で、先生は、この季節にふさわしいヨハン・シュトラウス作曲「春の声」他2曲を披露しました。体育館に響き渡る圧倒的なソプラノの歌声に皆さんも感動されたことでしょうか。“心と声”を新入生の皆さんに届けられたのでしょうか。来年は市合唱連盟主催の合唱祭に参加出来るよう、練習に励んでいます。

歴史・郷土学部 永井ミチ子



東松山市 きらめき市民大学
令和5年度 入学式

20期 ウォーキングクラブ



千鳥ヶ淵



当クラブは「歩くは健康の素」をモットーに、無理をしない「緩い」クラブを目標として活動してきました。主に10km前後の行程を2か月に1度歩いています。メンバーは'23年9月現在19名、日程は全員の都合を確認し参加数の多い日に決めています。毎回約半数強が参加しています。今までの活動は次の通りです。①22/7月 森林公園散策 9km 初めての例会で全員完歩、②22/9月 高坂正法寺、市民の森 9km、③22/11月 スリーデーマーチ初日 10km 全員完歩、三日間参加した者も。④23/1月 川越七福神巡り 9km 2組に分かれて実施、ほぼ全員参加し完歩、⑤23/1月 千鳥ヶ淵桜散策 8km、⑥23/4月 秩父羊山公園芝桜散策 8km。



国際・文化学部 澤本三知男

心の宝物

約25年間夫婦で山登りを楽しんできました。夫の病を機に二人での登山は終了となりました。夏は毎年山小屋泊で北アルプスや南アルプス等に縦走登山をして沢山の思い出が出来ました。中でも忘れられないのは3泊4日の北アルプス縦走(八方尾根—唐松岳—五竜岳—八峰キレット—鹿島槍ヶ岳—爺ヶ岳—種池山荘)命懸けの八峰キレット越え、鹿島槍ヶ岳の尾根からの剣岳立山連峰の圧巻の峰々。爺ヶ岳から見た遥か彼方にみえる山小屋の赤い屋根の景色はまるで宮崎駿の世界にいた様でした。山小屋で飲んだ生ビールは最高!でした。この素晴らしい思い出はどんな高価な宝石にも勝る宝物です。



国際・文化学部 S.F

心に刻まれた記憶

東京サミットでの通信インフラの仕事は、私にとって大変重要な経験でした。数々のチームと連携し、高速かつ安定した通信を確保する役割を果たしました。特に、サミット期間中のプレッシャーと緊張感は忘れられません。最も印象的な瞬間の一つは、東京会場の迎賓館近くの報道センターに前日からチームメンバーと共に入り、通信回線が正常に機能することを確認しました。その瞬間、責任感と誇りが一身に込み上げ、国際的な協力と対話の場を提供できたことに満足感を感じました。東京サミットでの仕事は、困難な状況での協力とチームワークの重要性を再認識させてくれる貴重な経験でした。その思い出は私のキャリアで一生忘れることのないものとなりました。

国際・文化学部 小村克彦



編集後記

今年の夏は、猛暑でした。しかし彼岸が過ぎて、やっと本格的な「秋」がやって来ました。この季節は、自然が魔法のように色づき、新たな季節の始まりも告げています。20期生は、修学旅行に始まり、自主企画、課題研究、学園祭と、慌ただしい日々でした。今回の広報誌を作成するに当たり、広報委員が知恵や意見を出し合いながら、作成しました。学園祭は終了しましたが、これからスポーツ大会や、課題研究の発表に向け、学園生活を楽しんで行きたいと思います。



20期広報委員会